

浜松市国民健康保険 第2期データヘルス計画 中間評価 について

「第2期データヘルス計画」（計画期間：平成30年度～令和5年度）について、計画の中間年度にあたる令和3年度に主に令和2年度までの実績を評価し、令和4年以降の計画の見直しを行った。

1 中間評価の方法

成果指標の目標達成状況を評価するとともに、国保データベースシステム（KDB）（以下、「KDB」という。）やしずおか茶っとシステム等により医療費や健診データの分析を行い、また平成30年度から令和3年度までに実施した保健事業（施策体系の大事業ごと）の評価を行った。

※各事業の実施状況、評価は「Ⅲ事業実績・評価」（6～13ページ）に記載。

2 中間評価

5つの成果指標のうち、令和2年度時点の目標を達成できたのは2つで達成率は40%であった。

（1）目標に対する実績

課題		成果指標（出典）		平成30年度	令和元年度	令和2年度
I 予 防 可 能 な 生 活 習 慣 病 へ の 対 策	(1) 特定健診率の受診率向上	特定健診受診率 (法定報告)	目標	34.0%	36.0%	39.0%
			実績	32.7%	32.9%	30.6%
	(2) 生活習慣病の発症・重症化予防（高血圧・糖尿病）	特定保健指導実施率 (法定報告)	目標	17.0%	19.0%	22.0%
			実績	17.1%	17.7%	17.0%
		特定保健指導対象者の減少率（法定報告）	目標	16.5%	16.7%	17.0%
			実績	15.9%	15.0%	13.5%
新規人工透析者の抑制数（40～74歳）	目標	8人	13人	16人		
	実績	69人	-14人	21人		
II 医療費適正化	後発医薬品使用率 (数量ベース・3月診療分)	目標	72.0%	74.0%	76.0%	
		実績	77.9%	80.4%	82.3%	

（2）医療費や健診データ分析の主な結果（抜粋） ※（ ）：参照ページ記載

ア 医療費分析

- 令和2年度疾病別医療費分析では、慢性腎臓病（透析あり）が最も高く、次いで糖尿病、統合失調症、関節疾患、高血圧症の順に高かった。（21（6））
- 新規人工透析患者数は、被保険者数の減少に伴い減少し、新規人工透析患者数の被保険者に占める割合及び患者千人当たりの新規人工透析患者数は概ね横ばいで推移（23（10）・25（15））。

イ 特定健診・特定保健指導情報

（ア） 特定健診受診率

- 特定健診受診率は、平成30年度から令和元年度まで微増傾向、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により前年と比べ減少（26（2））。
- 令和2年度の特定健診対象者の年代別受診履歴をみると、40歳代では継続未受診者割合が約80%を占め、年齢が高くなるほど減少し、70歳代では約50%となっている（28（5））。
- 特定健診継続未受診者の医療機関への受診状況を年代別にみると、40歳代では55.9%が未受診であり、年齢が高くなるほど減少し、70歳代では25.5%となっている（28（6））。

- (イ) 特定健診結果（令和元年度・健康スコアリング/同規模保険者比較・KDB）（29）
- 健康スコアリング（同規模保険者平均を 100 点とした相対点数・KDB）では、生活習慣病リスク保有者の割合が 96 点で同規模保険者 20 市中 15 位であった。リスク内容としては、血糖リスク保有者が 73 点と最も低く 20 市中 19 位であった。
- (ウ) 特定保健指導
- 令和 2 年度の特定保健指導対象者の特定健診受診者に占める割合を年代別にみると、45～49 歳の年代が 22.4%と最も高く、年齢が高くなるほど減少（32（14））。

3 計画の見直し

医療費や健診データ分析結果（参考資料 18～33 ページ参照）では、策定時の状況と大きな変化がないことから、計画の施策体系は現計画を令和 4 年度からも継承する。

※変更点は次の 2 か所。

- (1) 指標の変更：新規人工透析者の抑制数 → 患者千人当たりの新規人工透析患者数（KDB）
※被保険者数の減少等から評価が難しいことやシステム的环境整備により変更。
- (2) 目標値の変更：後発医薬品使用率 目標値を引き上げ

※令和 3 年 11 月末時点暫定値

課題	事業名	令和 3 年度※		令和 4 年度	令和 5 年度	
		目標値	実績※	目標	目標	
I 予防可能な生活習慣病への対策強化	(1) 特定健診受診率の向上	特定健診受診率 (法定報告)	42.0%	14.4%	46.0%	50.0%
	(2) 生活習慣病の発症・重症化予防（高血圧・糖尿病）	特定保健指導実施率（法定報告）	25.0%	1.0%	28.0%	32.0%
		特定保健指導対象者の減少率（法定報告）	17.3%	—	17.5%	18.0%
		<指標変更> 患者千人当たりの新規人工透析患者数（KDB）	—	—	0.161	0.159
II 医療費適正化	後発医薬品使用率 (数量ベース・3 月診療分)	78.0%	81.8%	変更 79.0% →83.0%	変更 80.0% →84.0%	

4 今後の取組み方針

- 予防可能な生活習慣病への対策を今後もより一層強化していく。
- 特に特定健診の受診率向上及び特定保健指導実施率の向上について、引き続き重点課題として取り組んでいく。
- 疾患別対策では、糖尿病・糖尿病性腎症については、引き続き「浜松市国民健康保険糖尿病性腎症重症化予防検討会」※1での意見を参考に、令和 2 年度に策定した「浜松市国民健康保険糖尿病性腎症重症化予防プログラム」※2のより効果的な運用に努めていく。
- 令和 4 年度以降の保健事業については、現事業を継続していく（令和 5 年度の目標を設定）。

※1 浜松市における糖尿病性腎症重症化予防対策の推進、保健医療関係機関の連携を図ることを目的とし、糖尿病性腎症の保健医療サービス等を提供する団体等から推薦された者で構成する会

※2 関係機関の連携により、糖尿病が重症化するリスクの高い被保険者が適時適切な医療、保健サービスを受けることで重症化を防ぐことを目的としたプログラム